

帯広東ロータリー・クラブ会報

[2022-2023年度]



イマジン
ロータリー

会長/古川 直也
幹事/上野 敏郎
会報編集 メディア委員長/加藤 肇



帯広東RC HP

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目23 帯広経済センタービル東館3F TEL(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 TEL(0155)24-1234

第1773回例会 (令和4年11月15日㊦ 於 ホテル日航ノースランド帯広)

起 立 (S A A)
友情の握手 (S A A)
点 鐘 (会 長)
開 会 宣 言

〈帯広東RC第1773回例会〉

加藤 武志 副S A A

ロータリーソング

(我等の生業) (S A A)

ゲスト紹介 (会 長)

J I C A 北海道帯広

野々垣 真実 様



米山功労者賞 贈呈

森定晴会員が米山功労者賞マルチプル6回目に輝きました。
米山記念奨学会より感謝状が届き、古川会長より贈られました。



会長挨拶

古川 直也 会長

皆さま、こんにちは。

昨今、全国的にコロナ感染が拡大しており、第8波でさらに拡大するのかわかりませんが、今後の例会や年末家族会の開催にあたり、各クラブとも様子見の様です。



開拓140年にあたり、様々なイベントが考えられる中、当クラブの上野幹事は、勉三の故郷、松崎町を訪れております。自ら理事長を務める帯広葵学園では、年長園児が卒園制作のひかる泥団子の展示会に同町の子供たちからも作品を送ってもらっています。その協力への感謝として同町での園児たちの泥団子の展示を打診したところ、11/11～14に松崎町芸術祭に出品、参加する事になりました。

さらに、勉三の資料と共に、芸術祭後には、勉三の生家である、旧依田邸での展示も依頼された、との事です。

また、帯広から松崎へ、ジャガイモ200Kgが届けられ、同町の幼稚園、小中学校のメニューに活用されます。(1078年に姉妹都市提携し、現在も特産品を贈り合い交流を続けています。)

資料の中には、[勉三と銭湯]、[勉三のミトリの医者是谁だったか?]とか、私個人としても大変興味があります。

兎に角、大変パワフルな上野幹事の行動力です。上記について、今後色々お聞き出来ると思います。

会務報告

加藤 肇 副幹事

上野幹事が諸用の為、本日は副幹事の加藤が会務報告を致します。

①帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月21日(月)
午後6時30分

場 所 北海道ホテル

②・帯広東RC、11月22日(火)の例会は、休会と致します。

・帯 広RC、11月23日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

・帯広南RC、11月28日(月)の例会は、休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月24日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル

④帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 11月25日(金)午後6時30分
場 所 ジグザグ

⑤例会終了後、定例理事会を開催いたします。



委員会報告

各委員会

・ニコニコ献金
親睦活動委員会
平佐 正仁 会員



- ・古川 直也 会長 コロナが拡大しませんように！！
- ・高田 進 会員 久しぶりの例会出席なのでニコニコします。
- ・加藤 雄樹 会員 中学校のクラス会もやりました。みんな病気持ちでした。でも元気でニコニコします。
- ・加藤 武志 会員 本日のプログラムを担当致しますので何とぞ宜しくお願い致します。
- ・高氏 英年 会員 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。

その当時スリランカは教育のレベルは低くないのですが音楽の授業は黒板を書き写すだけという課題もありました。その課題を解決するために歌や楽器の演奏を取り入れること「音を楽しめる」音楽の授業を広げること、それをできる先生を育てることを目的に音楽の先生として教員養成学校での授業などを行いました。ただ生活習慣などの違いもありうまくいかない毎日も続きました。悩むことも多かったのですがあることをきっかけに国としての事情、生活環境などもやりたくても出来ない理由になるのだと気づきよりいっそう対話を心掛けるようになりました。例えば全てのことには理由があり、それには相手を知る姿勢や相手との会話を大切にする、時にはあきらめ力を発動しお互いにとってちょうどいい妥協点を見つけることなどです。その後は活動の中では歩み寄りながらの対話や現地の人に頼ると言うことがキーワードとなりました。その様なことで海外の経験で学んだことは出会いの大切さとか物事の背景を意識することで問題や解決方法が見えてくること。そしてそれについて考え続けるという思考回路です。そして支援というのはあくまでも伴走することなのだと言うことが出来ました。



プログラム 国際奉仕・ロータリー財団委員会 加藤 武志 委員長



【スリランカと日本のつながり、そしてJICA海外協力隊の活動について】JICA 北海道帯広 野々垣 真実 様 アーユポーアン(スリランカの挨拶の言葉)

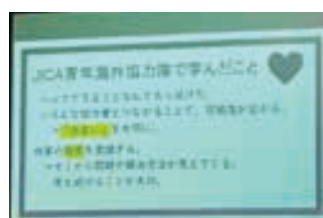
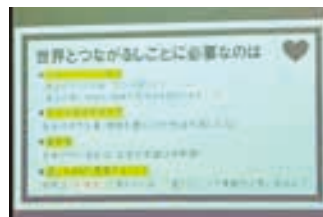
成田から直行便に乗り約9時間の小さな島国がスリランカ、北海道の約3.5倍の人口、公用語はシンハラ語、タミル語、英語など多種多様です。また地方都市と首都、リゾートなど全く違う風景になっています。スリランカの産品は紅茶ですが海があり山があり美しい島だと思います。ただコロナを経て観光で国を持たせていた部分がガラガラと崩れていて今色々大変なことになっています。スリランカの民族衣装はサリーという衣装です。次に食ですがスリランカと言えばカレーです。ココナッツミルクとスパイスを使ったヘルシーなカレーになっています。スリランカは超親日国で日本の看板を使った中古車を各地で見かけたり、歴史の中ではサンフランシスコ講和条約で後に大統領になるジャヤワルダナという方が敗戦国である日本に対し心温まるスピーチをしてくれました。



その後日本がJICAを含め国際協力として道路や空港を作った経緯もありジャパン、スリランカフレンドシップロードと名のついている道路もありスリランカの親日の気持ちが現れていると思います。

私は幼いころから音楽をやっていたということで教育大に入ったのですが中国との交換留学が大きな転機になりました。その後、社会人経験を3年し青年海外協力隊に応募しました。

世界とつながる仕事に必要なのはコミュニケーション能力、言葉にしないと伝わらないということ。自分の強みを生かすこと。柔軟性も求められます。これに関わりまして今は多様性という言葉、ダイバーシティという言葉をよく聞かれると思いますがそれぞれの違う価値観を尊重すること、このようなことが大事だと思いました。



結びに私の大好きな言葉ですがマザーテレサさんの言葉で「愛の反対は無関心である」という言葉がありますが世界に関心を持つということが国際協力や国際貢献の一步なのかなと思いつつ日々過ごしています。今日のご清聴ありがとうございました。

閉会宣言 (SAA)

点 鐘 (会 長)

次回プログラム予定

令和4年11月29日(火) (会員増強・ロータリー情報委員会)
「これからのクラブ活動について～情報集発表」